

TBK 活動報告書 2020 vol.8 2月号

発刊日: 2020年2月28日
 発刊責任者: TBK事務局 菊池
 TBKホームページ: <https://www.tbk.chiba.jp>



東葛ビジネス協議会(TBK) 事務局

柏市柏1-2-37 損保ジャパン日本興亜 柏支社内
 連絡先047-426-5388 損保ジャパン日本興亜 千葉西支店長席内

東葛テクノプラザ 共催「地域交流フォーラム2020」

地域交流フォーラム2020

参加費無料
 (交流会参加費 ¥3,000円)
 募集人数: 80名

～いよいよ開幕！
 東京オリンピック・パラリンピック～

産学官連携のもと産業技術の振興、新産業の創出発展に向けて、東葛テクノプラザの入居企業や周辺中小企業及び県内大学・研究機関の交流を図ることを目的に開催します。
 今回は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、聖火ランナーが東葛地域を通過することから、東京オリンピック・パラリンピックに関連のある方を講師に迎え、参加者同士の交流の場を設け、ベンチャー・中小企業の発展を図ります。

日時
 2020年
2.25(火)
 14:00～18:30
 (受付開始 13:30～)

場所
 東葛テクノプラザ 第2研修室

募集人数
 80名

参加費
 無料 (但し交流会参加費 ¥3,000/1人)

お問合わせ・お申込み
 東葛テクノプラザのホームページから申込書をダウンロードの上、FAXまたはメールでお申込みください。(担当: 事業推進課)

申込締切: 令和2年2月17日(月)

(公財) 千葉県産業振興センター-東葛テクノプラザ
 TEL: 04-7133-0139
 FAX: 04-7133-0162 メール: jigyosuishin@ccjc-net.or.jp

主催: (公財) 千葉県産業振興センター 共催: 東葛ビジネス協議会、東葛テクノ会
 協力(予定): 柏・松戸・野田・流山各商工会議所、我孫子市、柏市沼南、野田市関宿、鎌ヶ谷市各商工会

- 内容
- 第一部
 - 特別講演
 「ライフガードにおける『安全』とは」(仮)
 ～すべては水辺の事故ゼロのために～
 講師 安田 春暁 (やすだ あつし) 氏
 公益財団法人日本ライフセービング協会
 東京オリンピック・パラリンピック戦略室 ディレクター 他
 2020東京オリンピック・パラリンピックのテストイベントとして、マラソンイベント・トライアスロン・ボート・カーの各競技に対して安全管理に従事。
 - 講演「千葉県のオリンピック・パラリンピックへの取り組み」(仮)
 講師 千葉県環境生活部オリンピック・パラリンピック推進員
 - 第二部
 - 入居企業によるプレゼンテーション (2社を予定)
 - 第三部
 - 令和2年度中小企業施策について
 講師 関東経済産業局地域経済部 地域振興課
 - 千葉県の支援策について
 講師 千葉県商工労働部 経済政策課
 - 第四部
 - 名刺交換・交流会 (2Fラウンジ)

2月25日(火)TBK賛助会員でもある東葛テクノプラザ主催の「地域交流フォーラム2020」が開催されました。
 前年度の10月に引き続き2回目の共催イベントとなります。
 昨年末から準備を行い、満を持してのイベントでしたがあいにくの新型コロナウイルス対策上県からの指示もあり、第4部の交流会が中止のやむなきに至りました。
 また動員数も双方合わせて80名の予定でしたが、直前のキャンセルも多く、TBKからは14名合計40名ほどの参加者となりました
 それでもオリンピック開催の年に相応しい講演など、参加者の皆様には充実したコンテンツに満足いただいたものと思います。

感染防止のため、ホールの座席はひとつ飛ばしに間隔を空けて着席です。また出席者のほとんどがマスクを着用しており、少し異様な光景(笑)
 東葛テクノプラザ森所長、TBK長倉代表世話人のご挨拶でスタートです。



第一部の特別講演は、日本ライフセービング協会オリ・パラ戦略室ディレクターの安田春暁さんによる「すべては水辺の事故0のために」。ライフセーバーの評価は「何人救ったか」ではなく「いかに事故を防止したか」で決まるとのお話から、日本は水難事故大国であることなど興味深い話題が満載。オリパラ競技の水泳やカヌーなどの事故未然防止といざというときの救命態勢は、裏方に徹するライフセーバーの地道な取り組みにより支えられていることが良く理解できました。
 続く我千葉県オリパラへの取組についての講演では、聖火ランナーが県内を通過する7月2日～4日のコース概要や開催種目、舞台となる幕張メッセや釣り崎海岸の整備状況についての説明がありました。県内ではサーフィンやゴールボールなどオリパラそれぞれ4種目が開催されます。

休憩をはさんで第2部は東葛テクノプラザ入居企業2社によるプレゼンです。
 兼松サステックKKの木材保存技術は100年を超える歴史を持ち、業界内最古参とのことですが、オリパラのメイン国立競技場の補修にも採用されているそうです。同社の前身はなんと日産農林、さらに遡ると日立グループの源流久原鉱業にたどり着くとのご縁を感じました。KK A-Tractionはがん研究センター内に本社を置くベンチャー企業で、手術支援ロボットの開発を行っています。手術ロボットという3億円近いダ・ヴィンチを思い浮かべますが、同社のコンセプトは更なる手術自体の質の向上を目指すもの。主体はあくまで術者、そして医療施設の財政にも優しいロボットの開発とのこと。2021年までに医療機器承認取得を目指すとのことでご注目です。

第3部は経済産業省関東経済産業局と千葉県商工労働部より、2020年度中小企業支援策の概要が示されました。国にも県にもこんなに支援策があるものかと改めて思いました。トピックスである昨年の台風被害に対する県の支援補助金は1,000万円限度で4月末が締切です。TBKの重鎮目つ東葛テクノ会会長でもあるヨシザワの佐久本さんによる締めのご挨拶で無事終了となりました。

テクノプラザでの交流会は中止となりましたが、そこはTBK魂で今回講師をお願いした安田さんも含む有志13名で酒郷吉春にて単独の交流会を開催しました。
 実は安田さんを事務局にご紹介いただいたのは国際情報ネットの松木さんなのです。ありがたく感謝申し上げます。会場では聞けなかったライフセーバー界のお話で大いに盛り上がりました。安田さんありがとうございました!!

